

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調査

基準年月日 令和2年8月1日

Table with 5 columns: 調査番号 (08-13), 所管部 (建設部), 作成責任者 (建設部土木局砂防災害担当課長 松田 哲夫), 担当係 (砂防係(内) 29-401)

I 基本事項(基準日時点)

Table with 4 columns: 事業種別 (通常砂防事業費), 地区名 (外記川), 市町村名 (知内町), 事業費 (1,372百万円)

Table with 2 columns: 事業概要 (土砂災害から地域住民の生命...), 工事費内訳 (砂防堰堤改良工, 渓流保全工, etc.)

Table with 2 columns: 総合計画での位置付け (大規模自然災害対策の推進), 総合計画: 中項目 (強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮)

II 公共事業評価経過 (単位: 百万円)

Table with 10 columns: 事業採択 (H22), 着手 (H24), 評価年度 (H27), 完了予定 (H27), 経過年数 (10), 総事業費(a) (1,372), 道負担額 (686), 当該年度事業費 (66), 累積事業費(b) (1,206), 進捗率(b)/(a) (88%)

変更理由・内容 (1)施設整備計画の見直し... (2)資材、労務単価の上昇... (3)残事業量により事業期間を精査したことによる

III 事業採択前の状況

Table with 4 main sections: 1. 事業採択に至る経過と背景, 2. 事業検討の経緯(住民への把握等), 3. 事業効果を及ぼす地域・対象, 4. 関連する事業

IV 事業の実施状況

Table with 10 columns: (1) 事業実績及び今後の計画 (施工区分, 工事内容, 進捗状況, 事業費)

(2) 進捗状況 (砂防堰堤改良工が完了しているほか、上流区間の渓流保全工(620m)が完了。施設整備計画の見直しなどにより事業期間を延伸したが、今後の実施に当たっては、特に大きな支障となるものはない。)

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画(期間)等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

Table with 4 columns: 経済効果の内訳(百万円), 費用の内訳(百万円), B/C (1.13), 備考 (「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省 R2)「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」(国土交通省水管理・国土保全局 砂防部 H24年3月)に基づき算出。)

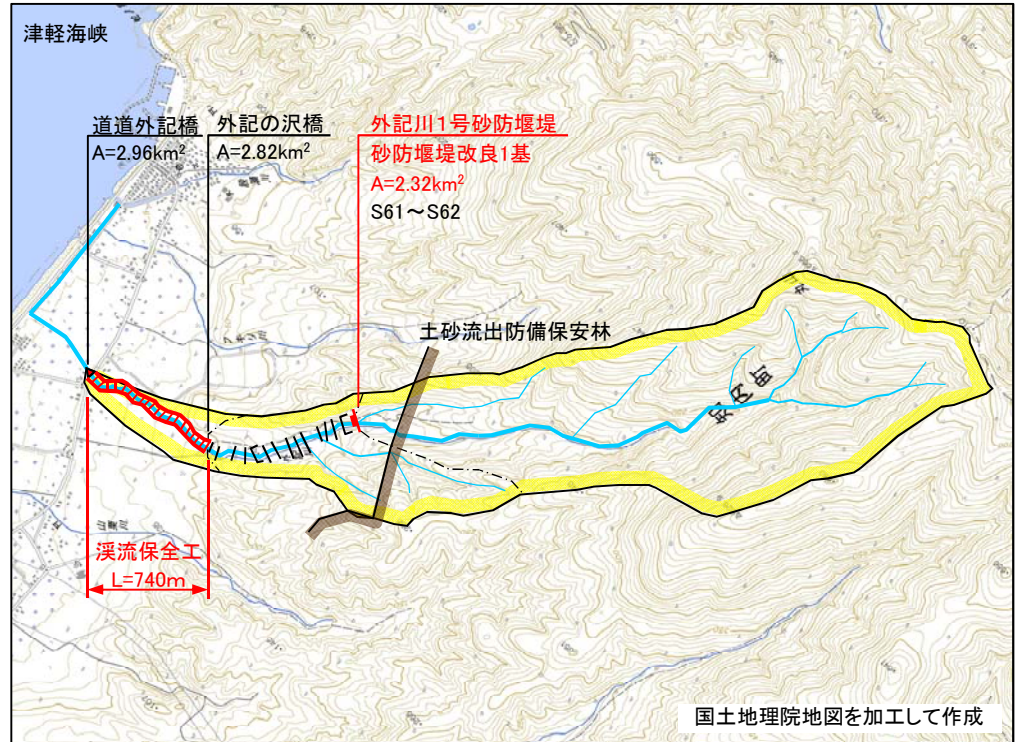
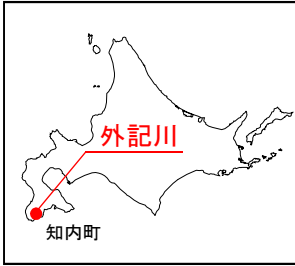
Table with 3 columns: 取組の項目 (資材循環の促進), 取組の内容 (現地発生材を寄石工の材料に再利用), 縮減額(百万円) (4)

V 評価								
1. 必要性	●本事業は、土砂災害から地域住民の生命、財産を守ることが目的であり、その事業効果が大きい。また、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念されるなど、土砂災害が発生する危険性が高いことから、事業の必要性に変化はなく、事業を継続して推進する。							
	a a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。							
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 ●環境調査により発見された希少種を移植などにより保全を実施。							
	(2) 事業推進に対する住民の動向 ●知内町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。							
	(3) その他の課題 ●特になし。							
3. 事業達成の見込み	現状では事業進捗に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していき見込みである。							
	a a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。							
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、知内町から早期完成の要望も受けているため、R4年度（2022年度）の完成を目指し、事業継続する。							
	a a：継続 b：終了 c：休止 d：中止							
<table border="1"> <tr> <td>事業期間の変更の有無</td> <td>無</td> <td>事業費の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>目的・規模等に係る変更 無</td> <td>左記以外の変更 無</td> </tr> </table>		事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 無
事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 無		
VI 備考								
1. 評価履歴	再評価：H27年度（2015年度）実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：1.92							
2. その他の取組事項								

### 補足資料

VII 事業計画変更							(単位：百万円)						
事業期間	再評価 事前評価 又は当初	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)	
事業期間		H22 (2010)	H24 (2012)		H27 (2015)		事業費	280	140				
	変更①		H24 (2012)	H25 (2013)	H30 (2018)			721	361				
	変更②	1回目		H24 (2012)	H27 (2015)	H30 (2018)			746	373			
	変更③			H24 (2012)	H28 (2016)	H34 (2022)			1,302	651			
	変更④	2回目		H24 (2012)	R2 (2020)	R4 (2022)			1,372	686	66	1,206	88%
	変更⑤												
	変更⑥												
	変更⑦												
	変更⑧												
	変更⑨												
変更⑩						10							
変更理由・内容		<p>変更①：事業費の変更及び事業期間の延伸 土砂搬出運搬距離の増及び他県の透過型砂防堰堤からの土砂流出事例に鑑み、土石流流下幅を検討し、鋼製スリットの範囲を増やしたことなどの変更による。</p> <p>変更②：事業費の変更 単価の上昇及び消費税率の変更による。</p> <p>変更③：事業費の変更及び事業期間の延伸 施設整備計画の見直し（既設構造物利用から新設へ変更）などによる。 残事業量により事業期間を精査したことによる。</p> <p>変更④：事業費の変更 資材、労務単価の上昇及び消費税率の変更による。</p>											

# 外記川 通常砂防事業(事業間連携砂防等事業(補助))



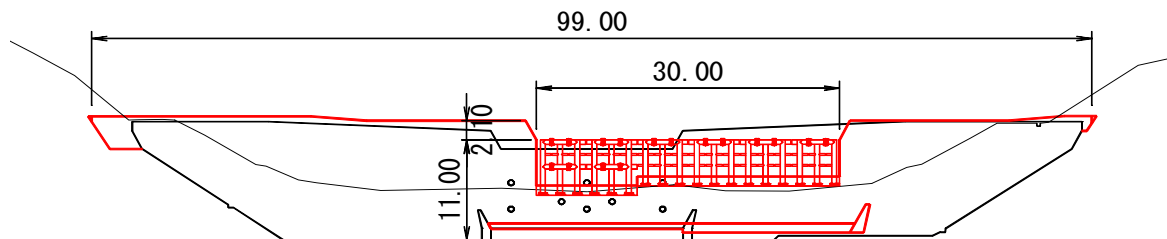
## 事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産などを守るため、砂防設備の整備を行う。
- H16年(2004年)8月の豪雨出水により流域内が荒廃したため、次期出水で下流域に土砂流出が懸念される。
- 既設砂防堰堤改良工(嵩上げ、透過型化)や溪流保全工の整備を行い、人家などを土砂災害から守ることを目的とする。

## 事業概要

- 外記川通常砂防事業は、土砂災害から人家や公共施設などを守るため、砂防設備(既設堰堤改良工1基、溪流保全工740m)の整備を行うものである。

### 砂防堰堤改良工



### 溪流保全工 標準断面図

